

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 02081528 A

(43) Date of publication of application: 22.03.90

(51) Int. CI

H04J 11/00

(21) Application number: 63232243

(22) Date of filing: 19.09.88

(71) Applicant:

NEC CORP

(72) Inventor:

NORO TOKUJI

(54) RADIO COMMUNICATION SYSTEM

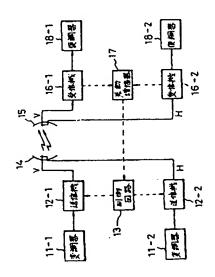
(57) Abstract:

PURPOSE: To suppress the deterioration in an axial ratio identification due to the fluctuation of the propagation state of a transmission line, to reduce the probability of occurrence of line hit by suppressing the interference between the V polarized wave and the H polarized wave due to the reception level fluctuation and to make the line quality stable by detecting a received input level and controlling a transmission output of opposite equipment due to the propagation state.

CONSTITUTION: The reception input level is detected by receivers 16-1, 16-2 of V and H polarized waves, the detection signal is compared by a differential amplifier 17 and the propagation state of the transmission line is detected. Then the detection information of the propagation state is sent to a sender side control circuit 13 via a radio transmission line and the outputs of transmitters 12-1, 12-2 of V and H polarized waves are controlled respectively in response to the output of the differential amplifier 17 by the control circuit 13. Thus, the occurrence of line hit is prevented to make

the line quality stable.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio



19日本国特許庁(JP)

1D 特許出願公開

四公開特許公報(A)

平2-81528

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

码公開 平成2年(1990)3月22日

H 04 J 11/00

B · 8226-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

公発明の名称 無線通信方式

到特 顧 昭63-232243

20出 顧昭63(1988)9月19日

東京都港区芝 5 丁目33番 1 号 日本電気株式会社内

创出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

四代 理 人 弁理士 山川 政樹 外2名

明 紅 春

 発明の名称 無磁通信方式

2. 特許請求の範囲

異なる情報を各々同一周波数のV偏波,H偏波を搬送波として同時に伝送する無線通信方式において、V偏放側,H偏放側の受信入力レベルを検波し、両者を比較して伝送路の伝数状態を検出し、その伝搬状態により対向の送信出力を制御するよりにしたことを特徴とする無線通信方式。

3. 発明の詳細な説明

〔金栗上の利用分野〕

本発明は腐波数の有効利用の目的で同一周波数のV,H関係波を搬送波として同時に異なる情報を伝送する無額通信方式に関するものである。

〔従来の技術〕

従来の無磁通信方式の一例を第3図に示し説明 する。

従来、との種の無線通信方式ではとの第3図に 示すように、各々異なる情報が変調器31-1,31 ー2 に入り、その出力は V 偏波例の送信機 3 2-1 かよび H 偏放例の送信機 3 2-2 でそれぞれ増幅され、送信例のアンテナ 3 3 より各々 V 偏波, H 偏波を搬送波として送出される。そして、その搬送放は伝送路を通つて受信側のアンテナ 3 4 で受信され、 V 偏波 例の受信機 3 5-1 かよび H 偏放 例の受信機 3 5-2 でそれぞれ増幅され、その出力を復調器 3 6-1 , 3 6-2 でそれぞれ復調し、情報を伝送していた。

[発明が解決しようとする課題]

上述した従来の無線通信方式では、アンテナの 交差偏放戦別度のみに依存しているため、伝送路 の伝搬状態の変動によつてV偏波,H偏波間の干 渉量増加による回線品質の劣化やよび回線瞬断の 発生確率が高いという課題があつた。

[課題を解決するための手段]

本発明の無線通信方式は、異なる情報を各々同一周波数のV偏波,H偏波を搬送波として何時に 伝送する無線通信方式にかいて、V偏波側,H偏 波側の受信入力レベルを検波し、両者を比較して 伝送路の伝搬状態を整理し、その伝搬状態により 対向の送信出力を制えるようにしたものである。

(作用)

本発明においては、受信入力レベルを検放し、 伝搬状態によつて対向の送信出力を制御する。*

〔夹龙例〕

以下、図面に基いて本発明の実施例を詳細に説明する。

第1図は本発明による無線通信方式の一実施例 を示すブロック図である。

図において、11-1,11-2 は各々異なる情報を入力とする変調器、12-1,12-2 はこの変調器11-1,11-2 の各出力をそれぞれ増幅するV個波偶の送信機をよびH個波側の送信機を13は割御回路、14は送信側のアンテナ、15は受信側のアンテナ、16-1,18-2 は受信人力レベルをそれぞれ検波するV個波側の受信機をよびH個波側の受信機、17はこのV個波側の受信機18-2からの検波信号を比較する差動増幅器、18-1,18-2 はV個

が検出される。そして、この伝数状態の検出情報は無線伝送路を介して送信仰の制御回路13へ送られ、この制御回路13により整動増幅器17の出力に応じてV個放倒をよびH個放倒の各送信機12-1,12-2の出力がそれぞれ制御される。

ここで、具体的な制御方法について第2回を用いて説明する。この第2回において、(1a)は標準状態を示したものであり、(2a)は V 偏波側(受信機18-1)の受信入力レベル低下、(3a)は H 偏波側の送信出力を下げる意様を示したものであり、(2b)は H 偏波側(受信機18-2)の受信入力レベル上昇、(3b)は H 偏波側の送信出力を下げる 放機を示したものである。 そして、19は V 偏波側の受信機における V 偏波側の受信機における H 偏波側の付号(干渉波)を示す。

ことでは、Y偏波側の受信信号を中心に説明するが、X偏波側についても同様である。

まず、第2図の(4)の場合は、主信号であるY佾

放伽の受信機18 とよびH偏波側の受信機16 - 2の各出力を れ復調する復調器である。

そして、V個波側・H個波側の受信入力レベルを検放し、両者を比較して伝送路の伝搬状態を検出し、その伝搬状態により対向の送信出力を制御するよりに構成されている。

つぎにこの第1四に示す実施例の動作を説明する。

ます、各々異なる情報は変調器 11-1,11-2 に入り、その各出力は V 個放領 かよび H 個放倒の各送信機 12-1,12-2 でそれぞれ増配され、送信側のアンテナ 1 4 より V 個波, H 個波を搬送液 として送出される。つぎに、その搬送液は伝送路を通つて受信側のアンテナ 1 5 で受信され、 V 個次個の各受信機 18-1,18-2 でそれぞれ境解され、その出力は復調器 18-1,18-2 でそれぞれ復調され、情報は伝送される。また、 V 個次例かよび H 個次個の各受信機 18-1,18-2 でそれぞれ復調され、情報は伝送される。また、 V 個次例かよび H 個次個の各受信機 18-1,18-2 で受信入力レベルが検波され、その検波 が 付け 差 動地解器 1 7 で比較され伝送路の伝統状態

放何の受信入力レベルが低下し $((1a) \rightarrow (2a))$ 、 干渉波であるH 偏波側の影響で回惑品質が劣化ま たは瞬断することを防ぐため、H 偏波側の影響を 抑えるよりH 偏波側の送信出力を下げる $((2a) \rightarrow (3a))$ 。

つぎに、第2図の(b)の場合には、干渉放である H個波側の受信レベルの上昇((1b) \rightarrow (2b))によるV偏波側への影響を抑えるため、H偏波側の送 信出力を下げる((2b) \rightarrow (3b))。

[発明の効果]

以上説明したように本発明は、受信入力レベルを検抜し、伝轍状態によつて対向の送信出力を制御することにより、伝送略の伝搬状態の変動による交差偏旋離別度の劣化、受信レベルの変動による V 個波、H 偶波間の干渉を抑制することで回線瞬折の発生强率を抑え、回線品質を安定に保つことができる効果がある。

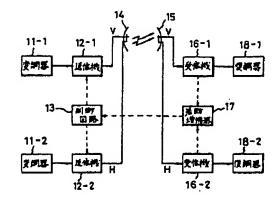
4. 図面の簡単な説明

第1回は本発明による無線通信方式の一実施所 を示すプロック図、第2回は第1回の動作説明に 供する制御方法の説明図 第3 図は従来の無譲通信方式の一例を示すプログロである。

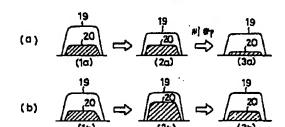
11-1,11-2・・・次調器、12-1・・・
・ V 個技側の送信機、12-2・・・日保技側の
送信機、13・・・制御回路、14・・・・送・信側のアンテナ、15・・・受信側のアンテナ、
16-1・・・・V 偏放側の受信機、18-2・・・
・ H 個技側の受信機、17・・・連動増幅器、
18-1,18-2・・・復調器。

·特許出願人 日本電気株式会社 代理人 山川 政 樹(ほか2名)

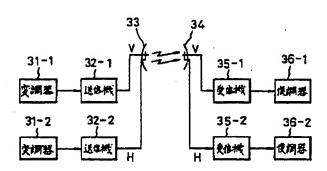




第2図



第 3 図



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

D	efects in the images include but are not limited to the items checked:
	☐ BLACK BORDERS
	☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
	FADED TEXT OR DRAWING
	BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
	☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
	☑ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
	☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
	LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
	☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
	·

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.